



E-mail:honbu@otedama.jp

●お問い合わせなどメールをご利用ください



http://www.otedama.jp

●たまちゃん通信はホームページに掲載

日本のお手玉の会本部

〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10番 1号

TEL : 0897-32-0302

FAX : 0897-32-0311



平成26年度文化庁芸術振興費補助金（伝統文化親子事業） お手玉遊びの教科書を制作しました。

伝承文化『お手玉遊び』児童教室
新居浜支部が子どもたちに解りやすい「お手玉遊び」の指導用教科書を完成させました。

簡単にでき、みやすさを
大切にしている教科書です。

●ご希望の方は本部へ
お問い合わせください。



新居浜支部が、平成26年度文化庁芸術振興費補助金（伝統文化親子事業）に、小学生を対象にした「伝承文化『お手玉遊び』児童教室」で応募しました。

それが採択され、いま、新居浜市内の小学生を対象に事業をすすめています。

この事業に取り組むに当たり「お手玉遊びの教科書」を制作しました。A 5版・20頁、表紙カラー印刷（写真上）で、第1章から第6章までの構成になっています。

- 第1章 お手玉遊びの歴史
- 第2章 新居浜市とお手玉遊び
- 第3章 お手玉の2つの遊び方
- 第4章 お手玉遊びのよいところ
- 第5章 お手玉遊びで学ぶこと
- 第6章 お手玉遊びをはじめよう

小学1年生から6年生が対象なので、すべての漢字に「ふりがな」をつけました。教科書の制作に当たっては、先に新居浜支部が制作した“達人でなくても指導できる”「お手玉遊びの指導マニュアル」の『導入編』と『児童編』を参考にしました。

イラストや写真をふんだんに使って、わかりやすさに配慮した、楽しい編集を心がけました（内容の例、左の写真）。

教科書を手にした児童教室の生徒さんからは、「楽しい！」と好評です。

表紙には、「文化庁のシンボルマーク」と、「平成26年度文化庁文化芸術振興助成金（伝統文化親子教室事業）」を表示しています。

20ページもの
表紙カラー印刷
中頁は白黒です

第1章 お手玉遊びの歴史

1. お手玉は4千年の歴史

日本の伝承文化のお手玉遊びは、長い長い歴史をもっています。日本のお手玉の会では、その歴史を調べたところ、つぎのようなことがわかりました。

お手玉の道具でもっと古いものは、黒海周辺の遊牧民の遺跡から見つかった骨のお手玉で、3千年前のものでした。

また、世界でいちばん古いお手玉遊びの記録は、4千年前の古代エジプト文明の時代の、ハッサンという王子のお墓にある、お手玉をしている壁画でした。



＊世界でいちばん古いお手玉の道具は、黒海周辺の遊牧民の遺跡から見つかった骨のお手玉で、3千年前のものでした。

2. 聖徳太子もお手玉で遊ぶ

日本では、聖徳太子（574～622年）が使っていたといわれる水晶のお手玉（石のお手玉）が、法隆寺の宝物として残っています。

お手玉遊びは、平安時代（794～1185年）に中国から日本にはってきたとはいわれています。当時は、身分の高い人たちの間で遊ばれていました。

第3章 お手玉の2つの遊び方

1. 投げ玉遊びと寄せ玉遊び

お手玉遊びには、2つの遊び方があります。

ひとつは、「投げ玉遊び」です。もうひとつは、「寄せ玉遊び」です。

「投げ玉遊び」は、両手2個ゆり、片手2個ゆり、両手3個ゆり、両手投げ3個ゆり、両手4個ゆり、などがあつた。お手玉を上に向けて投げあげながら遊ぶのです。遊ぶときは、わらべ歌や、歌など歌いながら遊ぶのです。

「寄せ玉遊び」は、5個のお手玉を使って遊びます。5個のうち1個は親玉で、残りの4個のお手玉は親玉にぶら下げて、親玉を上に向けて回しながら親玉を1個づつ持ち上げ、手の間にはさんだりして遊びます。こちらは、仕草（動作）を決め込んだ歌を歌いながら遊ぶのです。

この「投げ玉遊び」と「寄せ玉遊び」の2つの遊び方は、世界中にあつた。

2. お手玉は羊の骨や石など

世界の同じく遊ぶ方法は同じですが、お手玉の道具が違います。日本では、石を使ったり、貝殻を使ったりするところもありますが、その多くは包んだお手玉です。外国では、羊の骨を使ったり、ビニールで包んだボールや、木綿の綿で包んだボール、小石の形に削った陶器の形だつたりする。道具は違つても、遊び方は同じです。



第4章 お手玉遊びのよいところ

1. おばあちゃんやおじいちゃんとも

お手玉は、おばあちゃんから孫へと伝えられてきた遊びです。お手玉遊びだけでなく、伝承遊びの竹とんぼ、竹馬、水鉄砲、たこあげなども、おじいちゃんから孫へと伝えられてきました。

伝承遊びは、道具を自分で作るという点で共通しています。自分で作るから大切に扱います。作るときには、いろいろな工夫や工夫があります。

おじいちゃん、おばあちゃんとお話をしたり、遊んでくれるのが伝承遊びです。お手玉遊びをしながら、おじいちゃんおばあちゃん、おじさんおばさん、お父さんお母さん、お兄さんお姉さん、お友達さん、そしてお友達たちといっしょに楽しみ、お話をしたり、静まらなりました。

そのとき、気がつけなければいけないのがあつた。目上の人には、きちんとあつたつて、いろいろなことを教えてもらいました。

2. ゲームでおかしくなった脳を治す

小学生のみならず中には、一日に長時間テレビゲームをして遊んでいる人もあつた。ゲームを遊んでいると、脳を使っていると思われている人もあつた。

ところが、脳科学が専門の先生の研究で、ゲームをしているとき脳は働いていないことがわ

かったのです。日本大学教授で脳神経科学者の森田健治博士は、つぎのようにいっています。

